

授業改善推進プラン 小学6年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①文章全体の構成や展開を考え、筋道の通った文章を書く。 ②漢字を正しく、字形を整えて書く。	①各教科の学習の振り返りとして、毎授業後にめあてと正対した感想を書けるようにする。 ②単元ごとに漢字小テストを行う。採点基準を明確にし、合格できるまで繰り返し取り組めるようにする。	
社会	①資料を活用し情報を適切に調べ、まとめる。	①単元ごとに資料集や、図書室の本、インターネット等を使い、その中から取り上げたい史実等を調べ、自分の言葉でまとめたり新聞やリーフレットにまとめたりできるようにする。	
算数	①既習事項の定着を確実にする。 ②自分の考えを筋道を立てて説明、発表する。	①その日の学習で必要な既習事項を確認してから授業を始める。宿題として、下学年の学習プリントも活用する。 ②毎授業ごとに、全児童が説明する時間を設ける。説明に使用すべき算数用語を板書に残しておく。「まず」「次に」「最後に」等の言葉を使って説明できるよう、投げかける。	
理科	①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	①多くの用具に触れたり、多様な方法での問題解決に取り組ませたりする。実験や観察をする際、図・写真・動画を有効活用する。 ②既習の理科的用語等を積極的に使い、予想、結果、考察を自分の言葉で書き、友達の意見と比べる。	
音楽	①基礎的な演奏技能を身に付ける。 ②音楽を形づくっている要素とその働きを説明する力を育成する。	①音色の変化に注意しながら、各楽器に応じた息遣いを考える時間を設ける。 ②音楽の変化について、適切な用語や楽語に言いかえて説明する活動を行う。	
図工	①経験や技能を総合的に生かす力を培う。 ②言語活動を充実させる。	①既習事項を確認し、自分の作品に取り入れて制作する。 ②ワークシートや話し合い活動、発表の場を通して、伝えたいことを言語化する。	

<p>体 育</p>	<p>①運動における基礎基本の定着を図る。 ②自分で練習方法を考え、上達できる力を養う。</p>	<p>①筋力と、柔軟性を中心に体力向上のトレーニングメニューをルーティン化する。 ②各単元において、「上手くなり方」という考え方をもたせた取り組みを実施する。</p>	
<p>外 国 語</p>	<p>①主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ②外国語の音声や文字などについて、理解し、基本的な表現ができる力を養う。</p>	<p>①-1 児童が興味をもって取り組むことができる言語活動(歌やゲーム等のアクティビティ)を易しいものから段階的に取り入れる。 ①-2 あいさつや small talk 等、ALT や友達と外国語を用いてコミュニケーションを図る活動時間を十分に確保する。 ②-1 ALT の話を聞く活動を取り入れたたり、「We Can 2」に出てくるリスニング教材を活用したりする。 ②-2 友達と外国語を用いて自分の考えや気持ちを「やり取り」したり「発表」したりする活動を十分に確保する。 ②-3 簡単な語句や基本的な表現を読んだり、自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に書いたりする活動を取り入れる。</p>	